

那覇市議会議員 新垣 淑豊 (あらかき よしとよ)

TaN

Think
Talk
about
Naha

Vol. 9 2020 Mar.

TANとはThink About Naha、Talk About Naha(那覇について考えよう・話し合おう!)「接点」という意味のTangent(タンジェント)から名をつけました。

市民と市民そして市民と議会や那覇市が繋がるような情報をお伝えしたい思いを込めて発行する議会報告紙です。多くの皆様に目を通していただき、ご意見をいただければ幸いです。

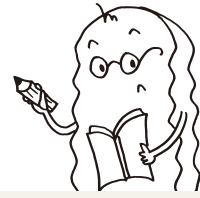


今月の内容 / YOSHITOYO's Questions ～よしとよの議会報告～

YOSHITOYO's Questions

よしとよの議会報告

議会で取り上げた質問について「なぜ?」その問題を取り上げたか「どのように」那覇市が考えているかなどをお伝えしていきます。



一般質問

01 予算が増えました!～障がい児保育について～

9月議会で障がい児保育の保育士さんへの補助が不十分ではないかと質問しました。その際に補助金の増額を検討するという答えがありました。今回の議会において、増額分がわかりました!令和1年度の予算は、約1億2,300万円、令和2年度の実施計画の査定額としましては、約1億3,400万円で、約1,100万円の増額です!市内には55人の対象保育

士さんがいるようで、一人あたり約20万円程度ではありますが、これまでなかなか増額とならなかったこともあり、まずは一步を踏み出したこととなります。今後の拡充も依頼をいたしました。



保育士さんはスゴイ!

一般質問

02 自転車に乗りませんか?～シェアサイクルについて～

那覇市の大きな課題の一つである交通渋滞。東京、大阪、名古屋など比較してもひどい状況です。公共交通の利用なども叫ばれていますが、なかなか改善の兆しが見えません。そこで、渋滞解決策の1つとして世界・日本全国でシェアサイクル(レンタル自転車)の導入が増えています。宜野湾市では公共施設にシェアサイクルが導入されたとの報道がありましたので、那覇市の今後について聞いてみました。現在、シェアサイクル事業者との連携を前提に、モノレール駅などの交通の要所

や市内施設の土地を中心に駐輪場の設置について検討を進めている。駐輪場の候補地の選定及び公募要件等を整え、来年度に公募を行う予定であることがわかりました。その時には1社だけではなく複数社を選定することで市民の利便性を高めるための競争をさせていただきをお願いをしました。さらに市民・県外からお越しになる方々にとって使いやすいものになればと思います。



シェアサイクル

一般質問

03 国際通りについて三度目の確認を

県内メディアでも近年数多く取り上げられている違法看板。さらに、不法投棄のゴミ問題、そして客引きなどが店舗間のいざこざにも発展しかねないという声が聞こえます。その点について聞いてみましたところ3人の部長からの答弁がありました。それだけ問題はごちゃっとしているのです。

現在は市含む関係機関による合同パトロールを実施するも、違法な看板の設置行為につきましては、条例に罰則がないため指導・勧告のみの対応となり、違法設置と指導による是正を繰り返すうちごっこが続いている

状況。付きまといや客引き行為に関しましては、明確な該当行為の確認が困難なことから、これまで指導の実績はない。ゴミについては不法投棄があった場合に調査をして指導をしている。という状況がわかりました。なはまち振興課を窓口として課題に取り組むも、課題が多岐にわたっているために庁内を横断的にプロジェクトチームを立ち上げることも必要ではないかとの提案と何かしらの問題があった時に、チェックをするための防犯カメラの設置について予算化を求めましたが、プロジェクトチームについては現行の体制の中で検討して

いく旨と、カメラは今後の国の補助などが出た時に活用したいとの消極的な答えとなったのは残念でした。



国際通りの大型看板

一般質問

04 そのハンコ本当に必要なの?～提出書類の簡略化について～

役所に来て、ハンコを押し忘れた!そしてハンコを自宅に置いてきて二度手間となってしまったことはありませんか?

福岡市ではハンコレスという取り組みを始めたと耳にいたしました。

議会の事前に那覇市の文書で現在ハンコを必要としているものには法的根拠があるのか、条例の定めがあるか、もしくは慣例でなされているのかをとりまとめていただきました。

いくつかは慣例で押印されている書類があることもわかりました。

第5次の総合計画でも行政効率化に取り組むことは明確に位置づけられており、ウェブを活用して申請や申請書のダウンロードサービスも増やしていることもわかりましたが、さらに法的根拠や条例根拠の無い書類については簡略化していくことも必要だと伝えました。

今後の情報技術の向上で新たな取り組み、

マイナンバーカードの活用での効率化も必要となるのではないのでしょうか。そして、そのことが職員の窓口対応の負担軽減にもなると思われれます。



ハンコレス

一般質問

05 ごはん、ふりかけ、牛乳 以上!～急な給食手配について～

インターネットの相談窓口にて給食センターの献立についての相談がされていました。運動会の振替日が登校になり、本来休みの日が登校になったことで、食材の確保ができず、給食がごはん、ふりかけ、牛乳だったようです。急に食材を調達することが難しい状況も理解しますが、今後、同じような状況になったときの対応策について聞いてみました。

学校と連絡を密にとり、急な献立変更等の状況に見合った対応を調整をするとのことでした。また、防災教育の一環として賞味期限の間近に迫った那覇市の災害用備蓄食料品の活用を検討して欲しいという提案をしたところ、関係部署との調整に取り組む旨の答弁をいただきました。



防災食をもしもの時の給食に

一般質問

06 隣の学校がいいのかな?～隣接校選択制～

那覇市は本来行くべき校区の隣の学校を選んで通うことができます。その制度が採択された経緯と、これまでの効果並びに課題、地域並びに学校職員からこの制度についての聞き取り、評価、検証というものがなされているかどうか尋ねてみましたところ、よりよい教育環境の実現を目指し、児童、保護者みずからの学校選択機会の拡充を図るため、小学校は平成18年度、中学校は平成19年度に、新入学1年生を対象に隣接校選択制を導入。これまでの13年で聞き取り、評価、検証はしていないことがわかりました。

中学校へ進学時に、児童が友人関係を大事にするため、友人と同じ学校へ進学希望が

できること。小学校で友人間にトラブルが生じている児童が隣接校へ入学選択することで、新たな友人関係を築く機会ができることなどが言えます。

行政が思う課題として、隣接校選択制は全員が希望校へ入学できるわけではありません。そのため、児童生徒及び保護者へ隣接校選択制についてご理解をいただくため、より一層の周知をすることが挙げられました。

しかし、この制度のために地域の子どもの学校がバラバラで地域活動が阻害されているという声もあります。また、小規模校がどんどん小規模化していくという話もあります。そうすると学校教員が減ります。大規模校は



隣接校選択で小規模校への影響が

10の役割を10人で割り振れる。けれども、小規模校になると10の役割を5人で割るというような形で、1人当たりの事務分掌は増え、負担が非常に大きいというふう聞いております。

学校教職員のなり手も少なくなってきたとの話もあります。実はこういうところにも課題があるのではないのでしょうか。

一般質問

07 消防隊員はどうなってますか?～首里城火災について～

令和元年10月31日に焼失した首里城。その調査には那覇市消防が取り組んでいます。普段の業務の消防とか救急以外に首里城の調査に関して非常に多くの人員が投入されている状況です。非常に多くの方がかかっています。実は消防署の職員の方々の心身ともに疲労というものがあるのではないかと耳にしましたので確認をさせていただきました。

首里城火災発生に伴い、長時間労働に従事した職員及び火災現場で活動した全職員

に対し、産業医の助言を受け、保健師による参事ストレスチェックを実施。12月1日現在、職員から体調不良などの報告はないが、今後発症の報告があった場合には、産業医による面談を実施するなど適切な対応を行い、健康管理対策を徹底する。との答弁がありました。市消防は条例定数を割っている状況ですので、職員の健康管理を十分行っていたらと思えます。そして定数を充足させるために力を尽くしてもらいたいと思えます。



那覇消防局